

令和7年7月22日の給食

戦後80年 食事の大切さを学ぼう

1945年(昭和20年)8月15日、太平洋戦争が終結しました。80年経つ中で、人々の暮らしは大きく変わり、食生活も豊かになりました。

給食を通して、今の食事と戦争中の食事について考えてみましょう。

平和で豊かな
日々感謝して
毎日の給食を
食べましょう。

★ お新香

◎ 八王子産キャベツ、
きゅうり使用

★ 牛乳

★ 焼き魚(鮭)

★ かてめし

◎ 八王子産にんじん使用

★★ すいとん

◎ 八王子産にんじん、
長ねぎ、小松菜、大根使用



1941年(昭和16年) 12月8日、
日本はアメリカ、イギリス、オランダ
の3国に対し宣戦を布告し、太平洋
戦争が開戦しました。

戦争中は、食べ物がほとんど手に
入らなくなり、明治時代に始まった
給食も続けられなくなりました。

子どもも大人もみんなお腹を空
かせていました。

戦争中



食料難 と給食



Memo

給食は、子どもたちの成長を助けるため
に明治時代に始まりました。

戦争が始まると食べ物が手に入りにく
くなり、給食でも小麦粉の団子を汁物に入
れたすいとんを食べるようになりました。

戦争が激しくなると給食は続けられな
くなりました。

1945年(昭和20年)8月15日、戦争は終結しましたが、食料難は、しばらく続きました。

食料難は、子どもたちの成長にどのような影響を及ぼしたのでしょうか。



Memo

1947年(昭和22年)
1月、給食は再開されました。

比べてみよう 戦争後と現在の身長



14歳の男子の身長を比べてみましょう。

戦争後の子は、戦争前の子より小さいですね。それは、体が大きくなる小学生の時に戦争があったため、食べ物がなく、成長に必要な栄養をしっかりとれなかったからです。

体験して
みよう

戦争中の食事



今日の給食では、戦争中の朝・昼・夜の食事を
ひとつひとつの皿で再現しました。

みなさんにとっては1食分の給食だけれども、戦争中
の子どもにとっては1日分の食事です。日々の食事に
感謝しながら、戦争中の食事を体験してみましよう。

しんこう
お新香



焼き魚

かてめし



すいとん

